

大和屋 設計・施工マニュアル【フラットクリップサイディング】

設計・施工の前に必ずお読みください

設計のご注意

- 当商品は天然木を利用した商品であるため、1枚1枚全て木目や色味の濃淡が異なります。サンプル・カタログの色の違いは、自然の木材ゆえの特徴ですのでご了承ください。
- 日焼けによる経年変化を楽しむことも出来ますが、木材の腐食やささくれを抑え、更に長くお使い頂く為に定期的な塗装することをお勧めします。

施工の前に

- 直射日光や雨の当たる場所、湿度が高い場所での保管は避けてください。
- 立て掛けての保管は反りや曲がりの原因となります。必ず平置きにして保管してください。
- サーモ材は特性上、未処理の木材よりも柔軟性が低く、割れや衝撃に弱くなっております。荷運び・荷下ろしの際は取扱いにご注意ください。
- サーモ材は酸性のため、鉄との接触は避けてください。ビスはステンレスビスを使用し、必ず下穴をあけてから施工してください。
- ささくれ等で怪我をしないよう、取扱の際は必ず軍手を使用してください。
- 天然木は一枚一枚木目や色味が異なります。施工の前に必ず仮並べをおこなってください。
- 品質には万全を期しておりますが、お気づきの点や不良品がございましたら、施工前に必ずご相談ください。施工後の交換にはご対応できません。

用意するもの

- ステンレスビス 長さ50mm以上
(材料の厚みに対して2.5倍の長さが目安です。下地の状況に合わせてご用意ください)
- 目透かし張り対応 透湿防水シート
[推奨：ウルトジャパン(株)ファサード用シート ウートップ サーモファサード、もしくはその同等品]
※目地の隙間より紫外線等の影響を受けるため、耐候性のある透湿防水シートをご検討ください。
※その他、上記透湿防水シート対応の副資材をご用意ください。

施工の手順

●下地の施工

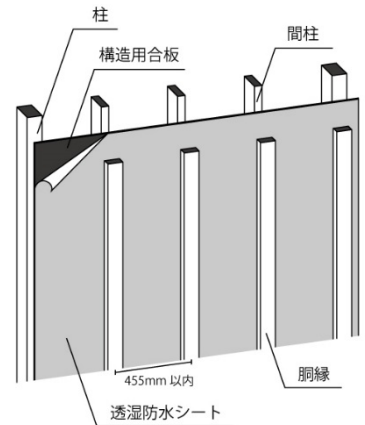
- ・下地の不陸・段差を確認し、サイディング工事に影響のある場合は手直しを依頼してください。

① 下地合板

- ・柱、間柱（303～455mm間隔）に9mm厚以上の構造用合板を張ってください。

② 透湿防水シート

- ・下地の上に透湿防水シートを貼り、全面を覆います。
- ・シートを張り合わせる際、メーカーの指定する重ねしろを確保し、テープで密着させてください。
- ・開口部廻り、小屋組みとの取り合いにおいては、特に念入りに防水処理をしてください。



③ 胴縁

- ・胴縁は目透かし張り対応の透湿防水シートのマニュアルに従って指定する厚みを順守し、防水処理をしたもの、または水に強い樹種等を使用してください。
- ・胴縁の間隔は455mm以内とします。
- ・胴縁と開口部の取り合いは突き付けとせず、周囲は30mm程度のスペースを設けます。
- ・サイディングの隙間から胴縁が見えることがあります。塗装等で適宜対策を行ってください。

●施工の流れ

① 塗装

- ・塗装する場合は、施工前に行ってください。反り・割れ防止のため、裏表と木口にも塗装を施してください。

② 仮並べ

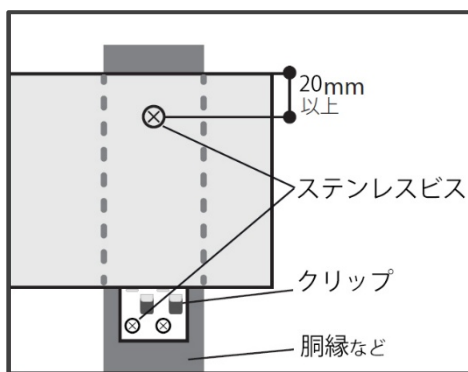
- ・本商品は天然木のため、色の濃淡が異なります。必ず仮並べを行い、色味のバランスを調整してください。
- ・継ぎ目は必ず胴縁上で合わせてください。

③ 墨出し

- ・胴縁上に施工する位置を墨出ししてから張り始めます。

④ 施工

- ・横張りの場合は、下から順に墨出し位置に合わせて取り付けてください。
- ・縦張りの場合は、左右どちらかの隅（端）あるいは張り始めを決めて順に取り付けてください。
- ・貼り始めの1枚目の端側は、通常のサイディング材と同様にビスで直接固定します。逆側はクリップで留めるため、ビス留めはしないでください。
- ・ビスは端から20mm以上離れた位置へ、下穴をあけてから施工してください。
- ・クリップを挟み込み、下地にビスで固定します（4ヶ所の穴のうち、実際にビスで留めるのは片側の2ヶ所のみ）。クリップの使用個数は、25個/㎡を目安としてください。
- ・クリップに2枚目のサイディング材を差し込みます。強く叩きすぎると実部分が割れてしまうことがあるので、あて木などを添えてやさしく叩き込んでください。
- ・長手方向は突付にせず、3mm以上のクリアランスを設けてください。
- ・建物に合わせた凹凸がある部分や窓回り等は、クリップで固定できない面がめくれ上がらないよう、端側のみビスで直接固定します。



貼り始めの1枚端側のみビスで固定し、逆側はクリップを差し込み、クリップと下地材とをビスで固定する



固定したクリップ
(写真はデッキの場合)

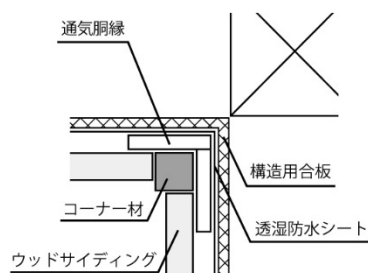


端側のみビスで直接固定
(写真はデッキの場合)

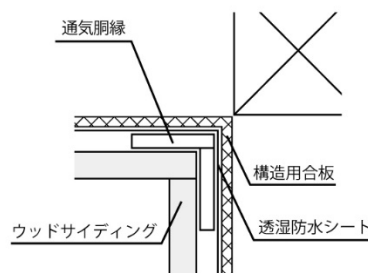
⑤ 窓廻りの納まり

- ・窓廻りは念入りに雨仕舞を行ってください。
- ・サッシ上部との取り合いにはステンレス製水切りをご使用ください。

⑥ 出隅・入隅の納まり・納まり例を参考に現場責任者の方と確認してデザインを選択してください。

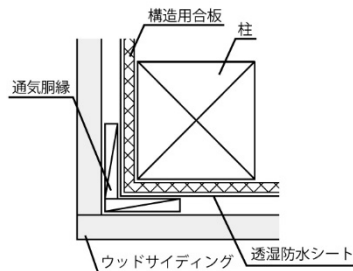


入隅 共材を使ったコーナー材

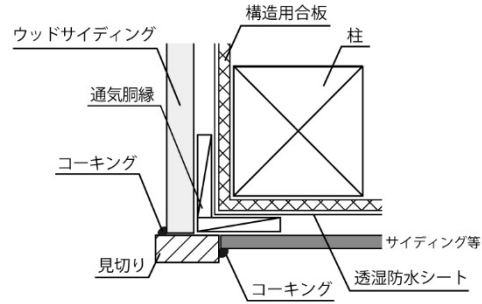


入隅 片方勝ち

▶次ページへ



出隅 片方勝ち



他の仕上材との切替

X

施工の後に

- 灰汁（アク）として木口・表面からにじみ出る場合があります。汚れなどが気になる場合は、足場の解体前に大和屋エクステリアクリーナー、または薄めた中性洗剤や漂白剤で落としてください。
- 掃除やメンテナンス方法についてはユーザーマニュアルをご覧ください。

免責事項 下記が原因として発生した不具合は、免責とさせていただきます。

- 天然木の特徴によるもの
 - ・ 色違い
 - ・ 木目・節の違い
 - ・ ヤニ
 - ・ 経年による変色
 - ・ 伸縮
 - ・ 軽微な反り・割れ
 - ・ キクイムシなどの虫の発生
- 水などを放置して発生した染み・変色・カビ・膨れ・反り
- 下地の不陸など本製品以外が原因によるもの
- 設計・施工マニュアルに基づかない設計・施工で発生した不具合
- ユーザーマニュアルに基づかない掃除・メンテナンスで発生した不具合
- 不適切な保管状況が原因で発生した反り・キズ
- 不適切な養生により発生したキズ・色むらなどの不具合
- その他天災等によるもの

※施工後の返品やクレームにはご対応できません。

万が一商品に問題があった場合は、必ず施工前にご連絡ください。

大和屋 株式会社

住所：埼玉県熊谷市問屋町 4-1-7

電話：048-526-1001 FAX：048-526-1011 メール：call@yamatoya-kk.co.jp

ホームページ：http://www.yamatoya-kk.co.jp/kenzai/